事例No.	2770
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	株式会社創造舎

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・歳入確保

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

OMACHI創造計画

出典

令和４年度ふるさとづくり大賞事例集



OMACHI創造計画

株式会社創造舎（そうぞうしゃ）

DATA

事　　例　名：OMACHI創造計画
所　　在　地：静岡県静岡市葵区人宿町2丁目6-10
連　　絡　先：TEL 054-250-2121
　　FAX 054-250-2122
ホームページ：https://sozosya.co.jp/company/

取組の概要

静岡市中心部に存する人宿町・七間町エリアが舞台。当該エリアはかつて映画館ストリートとしてにぎわっていたが、相次ぐ閉館等により近年は衰退しつつあった。このような背景の中、偶然、株式会社創造舎が当該エリアに事務所を移転したことをきっかけに、代表の山梨社長の情熱のもと、にぎわい再生に向けた「OMACHI創造計画」がスタートした。自社の建築と不動産の経験を活かし、リノベーションや新店舗等のオープンを次々に手掛け、2017年から2022年までに、約80軒の店舗・事業所が誕生した。今では地域のお祭りも復活させ、地元住民や行政、店主、不動産オーナー等を巻き込み、賛同を得ながら、歴史・新しさ・住む人の想いの調和を図ったまちづくりを進めている。

評価された点

●企業が自社の強みを活かして、積極的にまちづくりに関わった成功事例である。時間をかけて、地元の人とのコミュニケーションを大切にした点を評価。歩行者の増加やお祭りの復活など、地域の景観と賑わいの創出に貢献し、地域活性化とつながっている点を評価。

●民間企業からスタートしたハードをもとにしながらも、時代に応じた展開で、各店舗の経営が成り立っている。事業継承やコミュニティ形成にもつながっており、評価の高い事例である。

●衰退した中心部の再生に向けて、一企業が店舗等の跡地利用やリノベーションを基本に、6年間で80件を超える店舗、事業所の誘致やオープン、また、伴走型支援を行っている点は驚異的である。

●コロナ禍にもかかわらず、まちの再生により、歩行者通行量1.7倍と、多面的かつ多角的に強い想いでまちづくりに関わり、実績をあげている点を高く評価。

取組のプロセス

取組を実施するに至った要因・背景や地域課題
その取組を実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ 2011年～
人宿町へ事務所移転
20年間放置されていた銭湯ビルを改修し事務所を移転！

2011年～

映画館閉館のリリース
・本社移転と同時に静岡市を代表する映画館閉鎖のリリース。
・地域に衝撃が走る。



・街の有志で定期的に検討を重ねる。

2012年～

跡地活用のソフト事業
・アトサキセブン広場設置。
・イベント開催等。



・ソフト事業だけでは限界を感じるようになる。
・まちづくりへの決意。

・ハード面でのまちづくり。

2016年～

・期間限定のコンテナ店舗、カフェ、スーパーの誘致等。
・ハード面のまちづくりが増えていく。





2018年～

OMACHI創造計画
・第1弾～第3弾に分けて実施。
・2017年から約80店舗・事務所の誘致を手掛ける。
・地域のお祭り「人情祭り」復活。



2020年～

さらなる充実
・共同ごみステーション設置。
・屋外飲食型横丁「HITO THE YARD」開業（2022年）。



今後の展望
・人宿町でさらなるプロジェクトが進行中。日本一の商店街を目指す！
・静岡市丸子地域（駿府の工房 匠宿　丸子 泉ヶ谷エリア）のまちづくりにも意欲。

受賞者のコメント

この度は、奨励賞という身に余る賞を頂き、誠にありがとうございます。この賞の報告を人宿町エリアのみんなに届けられると思うと感無量な思いであり、喜ぶみんなの顔が目に浮かびます。今後も、個性あふれるヒト・コト・モノを人宿町に集め、古くから商い住む人と新たに人宿町に来た人が、融合、調和した人情溢れる日本一のコンパクトストリートにしていきたいと思います。